

# 城山エコミュージアム通信

2013.9.15 第17号



エコミュージアムとは、エコロジー（生態学）とミュージアム（博物館）の造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

## 小松 ~かつて黄金色に染まる里山だった~

地域紹介

小松の地名と昔語り

語り手

柳川 やすのり 静徳さん



秋、小松の畑を彩るコスモス



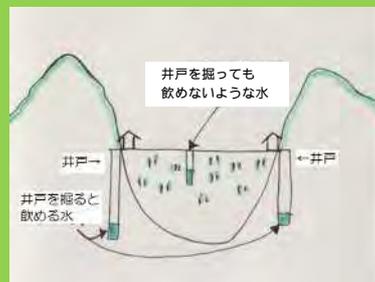
むかし、小松・城北地区の景観は、ワラ屋根の家ばかりでした。大正時代までは30数軒程しか家は無く、現在ある道路（小松～穴川・大戸に続く道）も、昔は車一台通るのがやっとでした。城山湖（本沢ダム）が出来た前の龍籠山は急勾配な崖でマムシがよく出たので、近寄らないよう親から注意されました。崖は子どもの頃は歩けないほど急でした。ダムの麓にある本沢梅園は、ダム工事の残土で出来た埋立地で、下に配水管を通して小松川へ流れています。この川の水源は本沢梅園管理棟周辺。現在では小松川の水量が少なくなり、かつての水田は現在では畑になっています。隣接する城北とは谷戸で別れています。



地名には、小松城址や評議原があり、里山の谷戸の地名には、金久保谷戸、仙人のようなおじさんが住んでいたという伝説のあるオンドジイ谷戸、北条落城の折に小松城にいた武士が自害したといわれる自害谷戸、小松城の裏の六社谷戸があります。（取材：森）



小松は、かつて水田だった地域を取り囲むように民家が立っているところが特徴。山側に井戸を掘らなければ飲める水が出なかったからではないかと柳川さんは考えています。



実際に田んぼだった場所に井戸を掘ったところ、飲めないような水しか出なかったそうです。

### 小松のおもなまつり

金刀比羅宮  
4月、10月の第1日曜日  
小松薬師堂  
9月12日  
小松コスモスまつり  
10月第1土曜日・日曜日



### 今回のトピック

「小松」の魅力紹介  
今年度城山エコミュージアムツアー内容紹介  
城山検定「これは何？」  
城山探訪「大杉に落雷！」  
出前・昔の写真館、自然観察会レポート等

# 時をたどり、道をたどり、伝説の里へ

たつごやま こまつ じょうほく  
～龍籠山伝説と小松・城北を歩く～



広田から眺めた龍籠山



先回の城山エコミュージアム通信第16号でご紹介した地域、城北を歩くツアーを開催します。地域の方々のご協力を得、当日は直接地元の方々からお話をお聴きします。昔の里山の風景が想像できて、また、地域の皆さんの里山を守る努力をご理解いただけたらと思います。

## 伝説の山をめざして



金刀比羅宮参道

まずは、城北の地を龍が棲んでいたという龍籠山を目指して歩きます。

広田小学校裏の田んぼの向こうに雄龍籠山、雌龍籠山2つ仲良く並ぶ山が望めます。金刀比羅宮参道、城北窯戸工房、城北では、里山の風景と文化をたっぷり楽しんで。



城北窯戸工房

龍籠山からは雨降、風間、滝尻、穴川といった地名に由来する龍の伝説を、それぞれの地を眼下にして体感してください。また、今は忘れられた存在に等しいといわれる「航空神社」という小さな祠があり、戦時中、龍籠山に2回も戦闘機が墜落、その時の死者を悼むために建てられたといえます。この地域の人情味あふれるエピソードの一つです。

## 活動レポート

# ホタル観察会



今年は観察した内容を現地でふりかえりました

昨年に引き続き、自然部会のメンバーにより、相原公民館での説明と、蛍の発光メカニズムであるルシフェリン・ルシフェラーゼという物質の反応実験をした後、徒歩で移動し、小松自然の家周辺での蛍の観察を行いました。今年は、班ごとに実験を行ったり、また、蛍が観察できた箇所を地図にマッピングしたりと、より密度の濃い楽しい内容となりました。思いのほか多くのゲンジボタルとヘイケボタルが見られ、子供たちは、点滅の仕方の違いや生息場所などから「どっちの蛍だろう」と興味津々でした。中には、ずっと点灯したままの蛍も居て。どうして?と不思議がっていました。講師を担当された佐々木さんは、「蛍は光で、カエルは鳴き声で仲間を探している事を理解して欲しかった」とのことでした。(榎)



大人気!発光実験



金刀比羅宮



良円山弁財天

## 里に息づく水信仰

そして、地域の信仰を集める「金刀比羅宮」、境内にある池には不思議な言い伝えが・・・。

小松・城北地区には「水」にまつわる話や信仰が今でも続いています。それだけに里の人たちにとって、「水」が何より重要なことがよくわかります。境川の支流となる穴川、小松川は、水量はずいぶん減ったそうですが、今でも清流が流れ、ホタルを代表とする貴重な生きものを見ることができます。(田)

開催日：平成25年10月13日(日)午前9時～午後4時

集合：城山総合事務所

行程：城山総合事務所 広田小学校 城北 金刀比羅宮参道 龍籠山 穴川周辺

その他：お昼は山頂のコミュニティ広場で取ります。お弁当、飲み物、雨具等をご持参下さい。

申込：平成25年9月30日までに、  
電話(042 783 8184)または、直接窓口へ

知ってナットク!  
しるやま



問題 これは、何でしょう？



ヒント

木製です。  
長さは、70cmくらいです。  
子どもの遊び道具と同じ仕掛けで動きます。  
正式名称は、漢字3文字です。  
(出題者 茂木 慶三)  
答えは、次のページへ

## 活動レポート

# 写真で地域の昔の姿をなつかしむ

～大好評！出前・昔の写真館、4地区で開催しました～

若葉台地区での開催に引き続いて、人文部会が主体となり、谷ヶ原、原宿、城山の各地域で「出前・昔の写真館」を開催、各地域にあわせた特色のある内容で、好評をいただきました。

昔の写真を収集・展示する活動は、戦後60年・旧城山町制50周年を記念して、平成17年より開始しました。これは、各家庭に蓄積されてきた古い写真を消えてしまわないうちに何らかの形で保存することができないかという思いから始めたものです。

人生の節目ごとに残してきた記念写真や、カメラの普及にともない多くの人達が気軽にシャッターを押し撮影した写真等にも私達は魅力を感じてきました。お借りした写真を整理する中でさまざまな発見があります。来場された方から感想や昔話を伺い、当時を思い出しながら盛り上がる場面を見る度に、活動してきて良かったと感じています。そして何よりご覧頂いた皆さんに喜んでいただくことが私たちの活動の喜びです。今後もこの「出前・昔の写真館」を継続して開催し、より多くの皆さんにご覧いただき、喜んで頂きたいと願っています。(茂)

谷ヶ原  
6/20

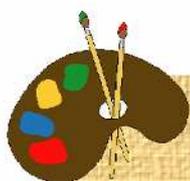


原宿  
7/18



城山  
8/3





# 城山探訪

しろやま見どころ紹介  
樹齢900年の大杉に落雷！消失！もう会えない！

昨年のエコミュージアムツアー「歴史と自然のカンヅメ・城山」で有力な観察ポイントだった「城山の大杉」が燃えてしまいました。猛暑日の続く8月11日午後2時頃、突然の激しい雨、落雷が発生、大杉を直撃、出火しました。なにしろ城山山頂近くでの北斜面、付近まで火は広がったが、険しい山頂付近で消火に難渋したようです。折からの激しい雨で火事が広がらなかったのが不幸中の幸い、それでも消防団は手動ポンプで4時間後に火を消し止めたそうです。

しかし、城山の主と云われる樹齢900年の巨木は燃え落ちてしまいました。昨年秋、城山(山)のエコミュージアムツアー下見時にこの木の太さを実感しようと、我々スタッフ6人で手をつなぎ、幹を取り囲んだことが懐かしい思い出となりました。(加)



圧倒的な存在感だった大杉(落雷前)



落雷に遭った大杉。中は空洞化していた

### 落雷後の大杉を見学したメンバーの声



樹皮と師部・形成層のみで木部はほとんどなく空洞化。こんな状態でよくこの厳しい立地環境に耐えてきたと驚きます。今後は雷杉として人気が出るかも...。あれだけ雨が降って、なぜ燃えるのかと不思議に思っていました。中が空洞化していたからなのでしょう。これでは、そんなに遠くない将来に自重を支えきれずに倒壊するのは確実のように思いました。雷神が「ここまでよく頑張った」と延命チューブを外したのかもしれない。心を込めて合掌しました。



## 今後の予定

### 主催事業

お申込、お問い合わせは、下記問合せ先まで

#### 城山エコミュージアムツアー

開催日：10月13日(日) 荒天の場合は、27日に延期

集合：城山総合事務所ピロティ 参加費：500円

申込：9月30日(申込順、直接または電話)

#### 少し昔の写真展

開催日：11月3日(日)～4日(祝・月)

会場：城山公民館 第2会議室(城山地区市民文化祭会場内)

### 事業協力(ガイド協力) ツアーで地域をご案内します

11月9日(土) 城山公民館「しろやま里山探検隊」

11月16日(土) 城山公民館「しろやま成人学級」

## あなたの思い出、お貸しください



### 写真募集中

ご家庭に残る記念写真、城山地区内の風景写真、白黒・カラー写真、ネガ、アルバム、ポジ写真も受け付けています。お借りした写真は、地域紹介、写真展等に有効に活用させていただきます。皆様のご協力をお待ちしています。



城山エコミュージアムが組織化され、編集委員会に各部会からも加わって新体制で2回目の通信発行となりました。いかがでしたでしょうか？みなさまのご意見、ご感想をお待ちしています。これからも内容の充実と読みやすい紙面にしていきたいと思っています。(宮崎)



## 一緒に活動しませんか？

城山エコミュージアム運営委員会では、地域の昔の写真、古道、自然、通信づくりなど、それぞれの興味にあわせて活動しています。高校生以上の方ならどなたでも参加可能！まずは見学してみませんか？詳しくは右記まで。ご連絡をお待ちしています。

企画/作成：城山エコミュージアム運営委員会

発行：相模原市教育委員会生涯学習課城山教育班

問合せ：TEL：042-783-8184【直通】

FAX：042-782-1290

この通信のバックナンバーは、ホームページ(パソコン)からもダウンロードすることができます。携帯からも活動内容をご覧いただけます。



城山検定の答え：竜吐水 りゅうとすい 消防で使われていた道具で、水鉄砲と同じように機能します。